

令和7年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1	教育課程 学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ・自立と社会参加をめざし、一人ひとりに応じた指導の充実と集団の学びの確保を両立した系統性・連続性のある教育課程を編成する。 ・ICT機器等の有効活用を推進し、専門性の高い教育活動を実践する。 	<ul style="list-style-type: none"> ①学習指導要領に基づき、実践をとおして課題を整理し、小規模校の特色をいかした教育課程を編成する。 ②ICT機器を利活用し、児童・生徒の「やってみたい」を引き出す授業づくりと授業改善を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ①-1 学習指導要領に基づき、現教育課程の課題を整理する ①-2 小規模校の特色を生かした教育課程を編成する。 ②-1 ICT基本操作チェック表を活用し、児童・生徒の実態の変容を見取る。 ②-2 「地域」をテーマに、協働的な学びをすることにより、社会と関わる力が向上したか。 	<ul style="list-style-type: none"> ①-1 実践を通して課題を整理し、編成することができたか。 ①-2 小規模校ならではの運営に対応した教育課程を編成できたか。 ②-1 児童・生徒のICT活用の技能、情報モラルが向上したか。 ②-2 協働的な学びをすることにより、社会と関わる力が向上したか。 					
2	(幼児・児童・) 生徒指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> ・学校全体で個別教育計画の作成に関わるしくみを構築する。 ・組織的な支援体制により、児童・生徒一人ひとりの多様なニーズに応じた児童・生徒指導・支援を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ①児童・生徒の主体的な学びを支えるツールとなるよう、個別教育計画作成に関わるしくみを構築する。 ②児童・生徒のニーズに応じた指導・支援を組織的に行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ①-1 児童・生徒の思いや願いを反映させること、自身の目標を意識して取り組むことを、しくみに組み込む。 ①-2 校内教職員の専門性を生かし、アセスメントに基づく支援の手立てを共有する。生活年齢を考慮し、特性に応じた指導・支援を行う。 ②校内支援の流れを整理する。支援シート等を活用し、連携に係る支援方針の共有と役割分担を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ①-1 児童・生徒の思いや願いを反映した計画となつたか。児童・生徒に目標と手立てを説明し、共に取り組むことができたか。 ①-2 アセスメントに基づく支援の手立てが共有できたか。生活年齢を考慮し、特性に応じた指導・支援ができたか。 ②校内支援の流れが整理されたか。支援方針の共有と役割分担に基づき、必要に応じて関係機関と連携した支援ができたか。 					
3	進路指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> ・児童・生徒一人ひとりの将来の生活の充実を目指した進路指導・支援を行い、将来的自立と社会参加を実現するために必要な力を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ①選択する力、あきらめずに挑戦する力を育成する。 ②児童・生徒のなりたい自分にむけ、地域資源を活用した進路指導・支援を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ①学習活動全般をとおして、選択することやあきらめずに挑戦する機会を設定し、役割活動等を行うことを支援する。 ②-1 地域の関係機関や事業所等との連携を深め、進路に関する学習等を設定する。 ②-2 進路選択に向け、説明会や見学会をとおした情報発信と、実習等のコーディネートを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ①児童・生徒が自分で選択したことに取組み、達成したり、再度挑戦したりする経験を提供することができたか。 ②-1 地域の関係機関や事業所等と連携し、進路に関する学習が実践できたか。 ②-2 進路選択に係る情報提供と、実習等のコーディネートができたか。 					

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
4	地域等との協働	<ul style="list-style-type: none"> 共生社会の実現に向け地域の学校等や地域住民との協働による教育活動を展開し、地域貢献を推進する。 センター的機能を發揮し、小中学校及び高等学校への組織的なコンサルテーションを充実させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ①地域に根ざした教育活動や学校防災をとおして、地域との協働を推進する。 ②センター的機能をとおして、地域の学校の支援力向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ①-1 居住地交流や、学校間交流をとおして、地域の小中学校と共同学習を行う。 ①-2 地域資源の活用や地域との話し合い等によるアイデアを生かし、教育活動や学校防災を充実する。 ②-1 職員一人ひとりが、巡回相談、居住地交流等の機会をとらえて役割を果たし、学校全体でセンター的機能に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ①-1 交流および共同学習をとおして、学校間の連携を深め、互いに意義を見出せることができたか。 ①-2 教育活動や学校防災をとおして、地域との協働を推進できたか。 ②-1 センター的機能をとおして、地域の学校の支援力向上に寄与できたか。 					
5	学校管理 学校運営	<ul style="list-style-type: none"> 安心安全な教育環境づくりに取り組む。 開かれた学校として、本校の教育活動等を外部に情報発信する。 	<ul style="list-style-type: none"> ①-1 組織的な学校運営とチームによる業務遂行により、校務の効率化を図る。 ①-2 全職員が課題意識を持ち、安全な学校づくりに主体的に取り組む。 ②地域の一員として、児童・生徒の学習活動や学校の取組をわかりやすく発信する。 	<ul style="list-style-type: none"> ①-1 業務遂行の流れの明確化と進行管理に基づき、チームで業務を進行することにより、校務の効率化を図る。 ①-2 対応マニュアルに基づく、実践的な訓練、研修をとおして、一人ひとりの課題意識と対応力の向上を図る。 ②ホームページ、学校だより、行事等の案内をとおして、わかりやすい情報発信に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ①-1 業務の流れの明確化と進行管理のもと、組織的な業務遂行と、効率化が図られたか。 ①-2 研修をとおして、事故・不祥事ゼロの取組が達成できたか。対応マニュアルに基づき、実践的な訓練が実施できたか。 ②見る人の立場に立った情報発信ができたか。 					